

開館時間 午前9時～午後5時 休館日 第2・4月曜日（祝日の場合は翌平日）
観覧料 一般500円（4000円） 小中学生300円（2600円） 幼児無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※障がい者手帳等をお持ちの方は観覧料の半額
会場 芦北町立星野富弘美術館 〒869-1556 熊本県章北郡芦北町大字湯浦1439-12 TEL/FAX 0966-86-11600

花と咲く日は
今日一日かきり
今日は雨が降るかも
知れなかった
大風かも
知れなかった



「ポピー」1997年

特別展

花と咲く日

2025.6.24(火)～9.21(日)

※9月22日(月)は展示替え

芦北町立

星野富弘美術館

特別展

花と咲く日

詩画家、星野富弘は、数多くの作品を残してきた中で、作品の題材は草花がほとんどでした。

星野は、『花をみていると、その色、その形の美しさに、驚かされることばかりだった』と語っています。日常を彩る草花は、私たちに小さな幸せと大きな癒しを与えてくれます。

本展では、「日日草」や「すいせん」など、花自身が持つ優しさや力強さ等を描いた作品を中心に特集展示します。



「日日草」1985年



「すいせん」1986年



「メロン」1996年

季節の常設展『夏』

爽やかな新緑の訪れから梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏を迎えます。

みずみずしい果肉が美味しそうな「メロン」や、水滴をまとうて輝く「紫陽花」など、夏を彩る作品を展示します。

夏の訪れを感じる富弘作品をどうぞご鑑賞ください。

【お知らせ】

●次回展覧会のご案内

特別展「詩画に明日を託して」

2025年9月23日（火）～12月7日（日）

星野富弘氏の詩画制作の原点などが紹介されている著書『愛、深き淵より。』を題材とした作品を特集展示します。

●富弘美術館（群馬県みどり市）情報

「新刊発行記念原画展 ただ一つのものを持って」開催中！

2025年11月30日（日）まで

どうして熊本県芦北町に星野富弘美術館？

休止されていた「星野富弘 花の詩画展」が、1994年の熊本県立美術館での開催を境に再開されます。それが契機となり、1年後に「星野富弘詩画がある芦北ふるさとギャラリー」が芦北町に開設。以後、交流が続くなかで富弘美術館（群馬県みどり市）の唯一の姉妹館として、2006年に「芦北町立星野富弘美術館」が誕生。当美術館は、星野富弘の詩画作品を常設展示しています。皆様には、星野の描いた「いのちの尊さ・いのちの輝き」を感じていただければ幸いです。



星野 富弘（ほしの とみひろ）

（1946年4月24日-2024年4月28日）

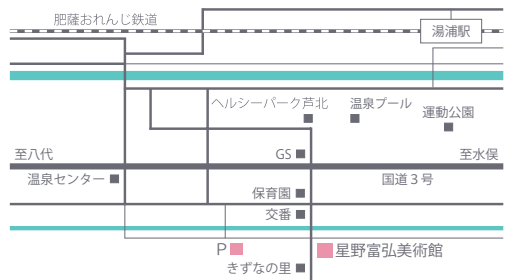
1946年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。大学を卒業後、中学校の体育教師になるが、クラブ活動（器械体操）の指導中、模範演技で空中回転したときに誤って頭部から転落。頸髄を損傷し、首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかきはじめる。前橋で最初の作品展を開く。退院後、新聞等に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年、高崎で初の「花の詩画展」を開催。以降、全国各地また海外でも開催され現在も続いている。1991年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に富弘美術館開館。2006年、芦北町立星野富弘美術館開館。著書多数。

ミュージアムショップ

星野富弘『花の詩画集』をはじめ、その他書籍、絵はがき、詩画集カレンダー等さまざまな商品を取り揃えています。観覧料なしでご利用できますので、お気軽にお立ち寄りください。

美術館までのアクセス

○ＪＲ九州新幹線「新水俣駅」から肥薩おれんじ鉄道線で「湯浦駅」まで13分／湯浦駅から歩いて15分
○ＪＲ九州新幹線「新八代駅」から肥薩おれんじ鉄道線で「佐敷駅」まで55分／佐敷駅からタクシーで10分
○九州自動車道「八代IC」から南九州西回り自動車道「芦北IC」まで30分／芦北ICから15分
○南九州西回り自動車道「水俣IC」から「津奈木IC」まで5分／津奈木ICから15分



※美術館玄関前に、障がい者用駐車スペースがあります。
※バス等の駐車については、美術館までお問い合わせください。



芦北町立

星野富弘美術館

〒869-5563 熊本県葦北郡芦北町湯浦 1439-2

TEL:0966-86-1600 FAX:0966-86-1600

<http://www.hoshino-museum.com>

（姉妹館）富弘美術館・群馬県みどり市東町草木 96 TEL:0277-95-6333 FAX:0277-95-6100